



5年生から始まる臨床実習を「ポリクリ」と言います。約一年間をかけて、地域病院や離島実習を含む全診療科を班に分かれて回っていきます。4年生までの座学で学んだ内容を、実地でさらに深めたり学び直したりします。医学部に入って、やっと医者らしい現場に近づくと聞くと、皆さん「ポリクリ」というか、皆さん

ポリクリ決起集会開催!!

ご存知でしょうか?何かの略語のようですがポリクリの語源は、ドイツ語の Poliklinik (総合病院、という意味)だそうです。さて、去る5月22日(金)、5年生による「ポリクリ決起集会」が龍宴にて開催されました。この「ポリクリ決起集会」、例年行われていたものではありませんが、今年の5年生総代が中心メンバーとなって企画し

「うちの学年は留年してきた人が多く、同じ学年同士でもほとんど話したことない人がポリクリ班にいるという人も多くいました。ポリクリが始まるに当たって、様々な不安が入り乱れていて、そういう気持ちを払拭し、ポリクリがスムーズに始まるようにしたい」と考えていました。最近学年飲みもあまりしていませんし、ポリクリが始まる前と比べると、同級生以外のメンバーとは会わなくなると、そろそろ学年飲みもしたいということも、3月頃にこの企画を思いつきました。私も自分も同じポリクリ班メンバーで普段から親しくしていた子はいませんでした。

まず会場に着いて驚かされたのは、集会に先立ち配布された資料でした。資料には当日の式次第だけでなく、5年生全員の決意表明、各診療科の先生方からのポリクリ心得も集められていました!決意表明は事前に提出していたものの、先生方からのアドバイスまであるとは。ポリクリにあたり学校から配布された実習説明書にはなかったこともたくさん書いていただけており、本当に有難く思いました。また、資料には当日出席予定の先生方のリストが載っており、ほぼ全ての診療科から先生が足を運んでくださっていたことが驚きでした。

開会にあたり、柳原克紀 臨床検査医学教授からご挨拶を、安武亭 先端医療センター 教授から乾杯の御発声をお願いしました。お二人とも決起集会を企画・開催した5年生に期待して、「いよいよ先生方から今年の学年がやる気があるとプラスに思ってもらいた分、自分たちでハードルをあげてしまったかもしれない(笑)。でも始めがなんでも肝心という感じでよかったのかもしれない。」「ポリクリが始まってからの科を回っても雰囲気いい学年とよく言われるのは非常にプラス。雰囲気いい学年が国試合格率も高

閉会に際し、前田隆浩 離島・へき地医療学講座 教授より、ダメ押しかの

た、初の試みでした。結果として、5年生121名(ほぼ全員参加!)に加え、50名の先生方にご参加いただいた非常に大きな会となりました。今回の記事では当日の様子を、幹事の皆さんのお話も交えつつ、5年生参加者の市川がお伝えします。

「ポリクリ前はものすごく緊張していたが、先生方と事前に話すことで、その不安が解消された。」「先生が決意表明を参考にしてオリエンテーションを参考にしたり、名前を覚えてくれたりしたのがプラスだった。」という声が寄せられたそうです。私個人的には、飲み

「ポリクリ前はものすごく緊張していたが、先生方と事前に話すことで、その不安が解消された。」「先生が決意表明を参考にしてオリエンテーションを参考にしたり、名前を覚えてくれたりしたのがプラスだった。」という声

「ポリクリ前はものすごく緊張していたが、先生方と事前に話すことで、その不安が解消された。」「先生が決意表明を参考にしてオリエンテーションを参考にしたり、名前を覚えてくれたりしたのがプラスだった。」という声



編集長 熊谷知香 (学友会 広報部)

編集部 長崎大学医学部ぐびろが丘編集部 長崎医学同窓会 〒852-8523 長崎市坂本1丁目12番4号 ☎095-848-5484 E-mail: ryojun-do@med.nagasaki-u.ac.jp

印刷 株式会社インテックス



左から幹事の大関くん、児島くん、新垣くん、松藤くん

九州・山口医科学生体育大会 長崎大学 総合順位 準優勝

☆団体戦☆	男子	女子
バレーボール	優勝	二回戦敗退
バスケットボール	予選リーグ敗退	予選リーグ敗退
卓球	5位	3位
バドミントン	優勝	予選リーグ敗退
剣道	優勝	優勝
弓道	5位	3位
柔道	予選リーグ敗退	---
準硬式野球部	予選リーグ敗退	---
ラグビー	二回戦敗退	---
サッカー	一回戦敗退	---
硬式テニス	優勝	二回戦敗退
ソフトテニス	準優勝	準優勝
水泳	優勝	優勝
ボート	一般 優勝	---
ウインドサーフィン	---	8位
陸上	7位	7位
フットサル	予選リーグ敗退	準優勝
軽音楽	---	優勝

☆個人戦☆	男子	女子
剣道	優勝 本多弘幸	優勝 溝口千乃
柔道	優勝 池谷千章	優勝 板山朋子
ソフトテニス	優勝 宮崎・神田	---

みなさん、こんにちは。今回は2015年3月から5月にかけて行われた九州・山口医科学生体育大会の結果をお知らせします。

学友会便り

長崎大学医学部学友会広報部

選手の声 (Best8入り) 有志の方々) 団体戦



バレー部男子 野本 和宏

こんにちは。男子バレー部キャプテン医学部4年の野本です。四月、久留米で行われました、九山にて念願の優勝を勝ち取ることができました。これもチーム一丸となって取り組み、長大らしい戦い方ができた結果だと感じています。現在、夏の西医に向けて練習に取り組んでいます。西医でも長大らしい戦い方をし、1試合でも多くこのチームで戦えるよう頑張っていきたいと思います。



バドミントン男子 村端 亮

去年優勝して今年は去年のメンバーとは大きく変更があり正直今年も優勝できる自信はありませんでした。しかしきつい強化練習を乗り越えていくことで団体メンバーを含めチーム全体の気持ちが高まり、苦しみながらも今年も優勝することができました。OBの先生方をはじめ、支えてくださった方々に感謝したいと思います。



弓道女子 楠本 紗羅

こんにちは!弓道部女子を代表しまして、楠本です!今年の九山では団体優勝を目指しましたが、力及ばず3位でした。来年は個人3位に入賞した村山をはじめ、後輩たちが必ずもつといい結果を出してくれると信じています。応援よろしくをお願いします!



硬式テニス男子 塚本 康二

今年の九山では、去年に引き続き優勝という最高の結果で、悲願の2連覇を達成することができました。これで九州の頂点は獲ったので、次は西日本の頂点を目指します。新たに加わった新入生と共に「長大魂」を持って戦ってきます。ご声援よろしくをお願いします。

選手の声(best8入り) 個人戦



柔道男子 池谷 千章

医学部4年の池谷千章です。今年度の九山の柔道競技で男子個人軽量級の部で優勝しました。前大会では、泥仕合の連続の末の準優勝だったので、その雪辱を果たすことができました。10年やってきて初めての優勝なので非常に嬉しく思っています。

柔道女子 板山 朋子

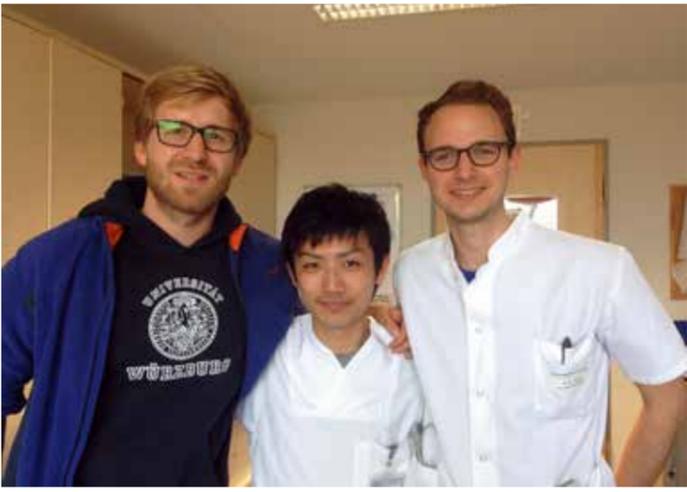
私は中学1年の時、愛媛県愛光中学で柔道を始めました。得意技は背負い投げです。柔道の魅力は、やはり「小よく大を制す」だと思います。来年の九山は長崎で開催されるので、またアベック優勝目指して頑張ります。

平成27年度 高次臨床実習海外実習レポート ヴュルツブルク大学での実習を終えて

6年 東野 真志

ヴュルツブルク大学での実習を終え、私は人と人とのつながりの大事さを強く感じた。ドイツで使った私のメモ帳のあるページは、知り合った親友や、学生、先生を始めオベ室で出会った看護師、仲良くなった患者などの多くの名前が埋め尽くされていた。それはボリクリのときから実習で使っていた小さなメモ帳である。私は横文字を覚えるのが苦手なので、あるページを利用して、知り合った全ての人の名前を書きこみしていた。前乗りして、6週間のヴュルツブルクでの実習を行い、日本に戻る頃には、メモ帳に70以上の名前があった。各科の先生方のご厚意で実習する予定だった内科、精神科以外にも脳神経外科と救急に参加することができ、多くの人と知り合った。感染症内科で患者との会話を英語で翻訳してくれただけでなく、採血やラ

インの留置、化学療法患者のポート針の交換など様々な手技の方法を教えてください。6年生のマイケル。マイケルのおかげで、不安だった実習が本当に楽しい毎日になった。救急にて共に患者の身体所見をとり、一緒にバーに行ったり、手作りの晩御飯を振舞ったりしてくれた。4年生のアメリ。精神科病棟にて毎日の計画を調整し、多くのセラピーや英語での問診に参加させてくれた精神科医のシモーネ先生。最終日に朝まで飲み明かす。よく日本の文化とドイツの文化(笑)について語り合った、交換留学生お馴染みのステファン先生。私と出会うと、必ず空手のポーズをする。体重100kg以上はある。精神科隔離病棟の陽気な男の看護師ロバート。寮でキッチンを共用し、困ったことがあれば何でも助けてくれたが、口笛がうるさい、イ



左 学生のマイケル、右 セバスチャン先生

ンドから来た研究員のザファー。さらに、ここに書ききれない、たくさんの人々のお陰で私のドイツでの実習が成り立った。右も左も分からない異国の地で、そしてドイツ語の全くわからない私にとつて、彼らの助けがどれだけ心強かったことか。そして、ノラ、シャロロッテ：彼女は昨年のボリクリで出会った親友である。ヴュルツブルクに到着した深夜、駅のプラットホームまで迎えに来てくれた。去年、ヴュルツブルクへ必ず会いに行くからと約束し、彼女が私を遠いドイツの地に導いてくれた。そう考えると、人と人との出会いがどれだけ貴重かを実感し、とてつもない感動を覚える。

さて、病院実習に関しても少し書きたいと思う。多くの先輩方が既に述べている通り、病院実習を通して痛感したのは、学生の振る舞いの違いである。ドイツの学生は採血を始めとする多くの手技をすでに習得している。新患の初めの問診、身体所見をとるのは



精神科デカート教授との観光

学生で、それを一人でやる、まとめ、上級医に報告する。ドイツの実習は決して「見学」ではなかった。ローテートしてきた瞬間からその科の医者の1人として組み込まれ、看護師、患者、その家族からも頼りにされる。最終学年にもなると、日本の研修医よりも多くのことを会得しているのではないかと思う。これには同じく長崎大学から実習に参加した他の2人も驚いていた。

ヴュルツブルク大学での実習で、日本では経験できない本当に数多くのことを得られた。これからもヴュルツブルク大学との交換留学が続き、またさらに多くの国で留学が可能になり、多くの先輩が活発に留学することを願います。最後に、日本とドイツからこの実習を支えてくれた力石さん、楠本さん、モールさん、小澤教授、そしてヴュルツブルク大学の責任者であり、私達のために1日、観光案内まで下さったデカート教授に感謝申し上げます。



Sparrow hospital

ERにて (左からMSU医学部生、私、研修医)

平成27年度 高次臨床実習海外実習レポート ミシガン州立大学での実習を終えて

6年 大城 亮作

3月30日から4月24日の4週間、アメリカのミシガン州立大学(以下、MSU: Michigan State University)の家庭医療科(外来チーム、病棟チーム)とERで高次臨床実習を受ける機会を頂きました。

日本でも家庭医や北米型ERという言葉をよく聞くかと思いますが、アメリカは家庭医やERが早くから制度化されている国であり、アメリカの医療事情を学ぶには、とても貴重な経験となりました。また、海外での医療活動に興味のある私にとつては、この上ない喜びでもありました。

アメリカで臨床実習を行うことに対し、敷居の高いイメージを抱いていた私は、応募する事に対する迷いがありました。しかし、このようなチャンスは二度とないだろうと思

い、思い切つて応募することにしました。幸い合格することができ嬉しかったのですが、そこから、アメリカに行くまでの準備が大変でした。

MSUとのプログラムは今年からできたもので、情報が得にくく、準備を進めることは非常に困難なものでした。まず、実習内容、滞在先の雰囲気、滞在費、ビザなど挙げればきりがありません。プログラム担当のジム先生、MSUでの語学研修経験のある先輩の助けもあり、なんとか出発までに準備を済ませることができました。

ミシガン州と言えば、自動車産業の盛んなデトロイトが有名ですが、MSUはミシガン州の州都でもあるランシング市にあります。仁川・シカゴ経由でランシングにたどり

着くと、現地のコーディネーターのSteveさんという方が迎えに来てくれました。初日は生活に必要な物の買出しや、実習先までの行き方、ランシングで生活する上での便利な情報等を教えてもらいました。

実習はランシング市内にある Sparrow hospital という市中病院で行いました。学生寮からバスで15分程の場所にあります。そこで、最初の2週間を家庭医療科の外来チーム、3週目にER、4週目に家庭医療科の病棟チームで実習を行いました。今回の留学の目標は3つありましたが、1つ目に英語で問診を取ることで、2つ目にアメリカの医療制度を学ぶこと、3つ目にアメリカの医学生や研修医の先生方と友達になることでした。

家庭医療科では、家庭医とアメリカの保険制度が密に関係していることを知りました。家庭医とは一次予防や二次予防を役割とした医者で、患者が生まれてから亡くなるまでの健康を保つために医療活動を行います。なので、定期的に患者の健康を確認することは大事な仕事の1つです。一方、何かの事情で通院が途絶えた患者に対して、定期的に電話をかけ、病院に来るように促すこともします。また、どんなに健康な人でも一年に一度は個々の家庭医の診察を受けなければいけないのです。アメリカでは、このような家庭医制度が古くから存在しています。

ここで、アメリカの医療保険には3つのタイプがあります。Medicare、Medicaid、個々の会社の経営する保険の3種類です。MedicareとMedicaid



ERにて (左からMSU医学部生、私、研修医)

は政府から提供される医療保険です。Medicareは65歳以上の低所得の人が対象で、Medicaidは若い人で低所得の人や身体障害者を持つ人が対象となります。保険と家庭医はつながっており、どの保険を買うかによって、家庭医が決まります。例えば、子供が生まれ、初めて予防接種を受ける際に、親の職場と提携している保険会社の中から一つ選

学生の活動特集



五合目から太子館まで

こんにちは！皆さん、夏休みはいかがお過ごしですか。部活に燃えた方、地元でゆっくりされた方、遠くに旅行に行っただ方、新しいことに挑戦した方、沢山の思い出ができたのではないのでしょうか。

合目から山頂までのちょうど中間に位置しています。富士山に登ったことがある方は、利用したこともあるのではないのでしょうか。「太子館」という名前は、「聖徳太子が馬に乗り富士山に登った時、休憩した場所がこの場所であった」という伝説に由来しています。建物は総檜造りで平成元年（1989年）に建てかえられています。内部は広くゆとりたっており、つるげる山小屋です。

意されています。そして、寝るときは一人ずつ寝袋が用意されています。このように、「太子館」は、富士登山の疲れを癒すとともに、山の雰囲気を感じることができ、さうな山小屋です。以下のお話は、米村さん自身のお仕事の体験談をもとに書いていただいたものです。

真暗な中、橙、緑、黄色、沢山の光が数珠繋がりになって登って行く。彼は、今夜も魂が列を為して昇って行くような、登山者の行列を眺めていた。時折、しゃらん、コツと金剛杖で岩を小突く音と、その先端の鈴の音が風に乘って漂って来る。日本人は宗教を持っていないという人は多いが、それは嘘だと彼は思った。夜の闇を縫って息も絶え絶えに、朝の光を祈りに代えて、人を超えた存在に思いを馳せる。神を持たぬ彼にとって、不思議としか思えぬ人の営みが毎夜繰り返される、それが彼にとつての富士山であった。

小屋の前で一服しながら呆けるのが彼の夜の日常であった。大工の雅さんと小屋の番頭四十年の市島さんが、焼きゴテで金剛杖に小屋特有の形をした焼印を入れて売っていく。七厘の中で真赤に熱せられた鋼のコテを持ち上げると、火の粉が一気に巻き上がった。焼印を待つ人の群れが驚いて仰け反る。しかし、雅さんは火の粉が手に降り懸



檜造りの山小屋

「神野、看護師ってのは、おつかねえぞ。」雅さんは学生アルバイトの神野に言う。雅さんの奥さんは看護師である。「俺が傷作ったらな、アンタの傷はほっときや治るけど、ズボンには直らないんだからね！なんて言いやがる。」神野は笑って、口上を続ける。「標高三千メートルの太子館。太古の昔、厩戸皇子が愛馬黒駒に乗って

空を一飛び、ここで休憩をしたという伝説が残っております！」ガラリと売店の窓を開けて、彼は夜のヌードルと菓子詰めに、熱い緑茶を受け取り、雅さんと市島さんに持って行く。昔は彼も横に座っていたが、既にその役目は神野などの後輩が担っている。彼は小屋の中に戻り、囲炉裏端に腰を据えた。灰を被せて僅かに燃えるようにしてある火を見つめながら、半分眠っている。いつも知れぬ時代から伝わる鄙びた藍色のどてらに身を包んで、座敷童子のようであった。

夢を見ていた。声が聞こえてくる。少し低めの優しい声だった。彼は声を頼りに、昼間に山小屋への荷を運ぶブルドーザー用の砂利道を、ゆっ

くりと登って行く。声の彼女が彼の誕生日にくれたのは、穏やかな午睡をする裸体の彼女と、その真赤なハート型に象られた心臓の中に眠る小さな彼の、紙粘土の像であった。当時は納得ができなかった。もう少し俺が大きくなって、お前を包んでいる部分があってもいいだろう。

目を覚ますと、いつの間にか空は色彩を取り戻し、藍色からオレンジ色、

白色へと移ろっていた。焼印をリズムカルに、躍りになって押し続けている雅さんと市島さんも、今や寝床で静かな寝息を立てている。小屋の前では、山の夜気に冷え切った体を寄せ合いながら、疎らになった登山者が日の出を待ち侘びている。東の空と雲海が為す水平線の僅か手前、少し雲が綿毛のように盛り上がった部分から、眩しくはない、しかし明るい橙色の円弧がゆっくりと、その弧長を伸ばし、半円となり、やがて完全な円形を成す。御来光である。登山者が一通り写真を撮り終わって、神野が徐に、少し高くなったタンクに上がって声を張り上げた。「それでは皆様の益々の御健康と御発展、そして太子館の商売繁盛を願います。万歳三唱を致しましょう！」



大学生協アンケート

(裏面をご覧ください)

被ばく70年を考える企画展

日時 2016年 1月4日(月) - 1月15日(金) (予定)
場所 長崎大学坂本キャンパス 良順会館

映画とのコラボレーションも計画中です。ご期待ください。

問い合わせ：被ばく70年学生企画実行委員会 70peace2015@gmail.com

大学生協とは

大学生協は、学生・教職員が出し合った出資金で運営され、組合員の生活全体を様々な事業を通じてサポートしていくための協同の組織です。生協は組合員の声をもとに食堂・購買・書籍などの事業を運営しています。生協は一人ひとりの出資と参加で成り立っていますので、加入されていない方は加入（出資）をお願いします。なお、出資金は卒業時もしくは異動時に全額返還します。

生協には様々なサービスがありますが、今回はその中でも研修医、医師、研究者の方がご利用できるサービスをご紹介します。

☆研修医、医師、研究者
協をご利用ください。

長崎大学生協は、研修医、医師、研究者の方々にも大学生協を頻りに利用していただいています。主に書籍の利用で、もちろん組合員価格（定価の10%OFF）です。

研修医の方であれば医療教育開発センター、医師や研究者の方は指定の医局や教室まで注文いただいた商品を配達していただきます。

大学、大学病院以外の場所へは配送を承ります。市内指定病院へは組合員価格10%OFFのまま、その他病院や自宅へは組合員価格を5%OFFとし、送料は無料でお届けしています。

卒業する際に長崎県内で研修をされる方は継続加入をおすすめしています。研修医の方は土曜日に書籍を見に来られて注文されたり、メールで注文されたりすることが多いです。大学病院以外の病院で働かれている先生方からも電話やメールで注文をいただいております。

支払いは売り掛け（つり、月末締めで翌月末日までにお支払いいただく制度です。期日までに振り込んでいただくか、店舗でお支払いいただくか、もしくは都合の良いときに集金にお伺いするかで対応しています。

また口座引き落としの制度もあり、翌月末日頃の指定日に自動的に引き落とさせていただきます。毎月の支払いの手間もなく便利です。

2015年前期売り上げランキング〈チョコレート〉

- 1 有楽 ブラックサンダー
- 2 ブルボン 濃厚チョコブラウニー
- 3 ブルボン 濃厚宇治抹茶ブラウニー
- 4 ブルボン 濃厚チョコブラウニー キャラメル味
- 5 ブルボン プランチュールミニDX 宇治抹茶



2015年前期売り上げランキング〈500ml飲料〉

- 1 サントリー ビックル
- 2 サンガリア ナタデココ入り白ぶどう
- 3 コカコーラ アクエリアス
- 4 コカコーラ ジョージア 贅沢生クリームカフェオレ
- 5 キリン 世界のキッチン ソルティライチ



このように、大学生協は学生の方だけでなく、研修医、医師、研究者の方もいろいろなサービスをご利用いただけます。ぜひご利用ください。

〈2015年前期 売り上げランキング〉
今回は、生協に寄ったと思わず買ってしまった、あまーいチョコブラウニーと500ml飲料の売り上げランキングをご紹介します。

1. 有楽 ブラックサンダー
2. ブルボン 濃厚チョコブラウニー
3. ブルボン 濃厚宇治抹茶ブラウニー
4. ブルボン 濃厚チョコブラウニーキャラメル味
5. ブルボン プランチュールミニDX 宇治抹茶

みなさんいかがでしたか？予想通りだ、なんて思った方も多いのではないのでしょうか。1位は安くて手軽なブラックサンダー。あのくせになる食感がたまりませんよね。いろいろとお金が飛ぶことのできる大学生にとつてあの値段も嬉しいところ。そして、2〜4位は濃厚ブラウニーのシリーズです。今年から新たに発売された？キャラメル味も堂々ランキングインです。スティック状で食べやすく、一本でも十分満足感が得られます。味も濃厚で手軽にしっかりと糖分摂取できて、いつもより授業に身が入るかもかもしれません。ですがこの商品、大学に入って初めて食べた、という方が多いのではないのでしょうか。実はこの商品にはちよつとしたストーリーがあるのです。ご紹介したいと思います。

当初、この商品はコンビニエンスストアなどで発売されましたが売り上げが悪く、販売から2週間で売り場から姿を消しました。しかし、担当者は「絶対に売れる」と信じ、粘り強く販促しました。ある時、長崎県のあじ九州の生協で一斉に販売したところ瞬く間に売り上げは伸び、熊本県の大学では1日最大8900個売れたそうです。医学部生協でも4〜6月で約2000個売れています。こうして一時は終売かと思われていたこの商品は大学生協で売れたことをきっかけに、今ではスーパーの棚にも並び、新たに種類も増え、定番商品に育ちました。この濃厚ブラウニーは大学生協で売れ始めたことをきっかけに人気商品になったのです。

こんなお話があったことご存知でしたか？またいつもとはちよつと違った気持ちで濃厚チョコブラウニーが食べられるかもかもしれませんね。またぜひ、手にとつてみてください。

次は、500ml飲料のランキングです！今回は、水、お茶を除いた順位をご紹介します。

1. サントリー ビックル
2. サンガリア ナタデココ入り白ぶどう
3. コカコーラ アクエリアス
4. コカコーラ ジョージア 贅沢生クリームカフェオレ
5. キリン 世界のキッチン ソルティライチ

1位はなんと、ビックルです！瓶のイメージも強いビックルは昔から変わらぬ美味しさです。著者も思わず時々買ってしまいます。2位はナタデココ入り白ぶどう。ナタデココのつぶつぶの食感がたまりません。いかに最後まで残らないように飲むかなんて必死に頑張ったりしませんか。アクエリアスは部活生には必須です。ソルティライチも同じように部活で飲んだりするそうですね。スポーツの秋ともいいます。しっかりと水分補給しながら部活動に励んでください。

500mlのコーヒーで一番人気なのがジョージア 贅沢生クリームカフェオレです。ちよつと甘い甘さで生クリームが入っていることで口当たりも滑らかです。機会があれば、今回は缶コーヒーのランキングもご紹介出来たらと思います。生協では不定期でいろいろな商品が割引されています。普段飲まないドリンクを

新聞・生協に対してご意見を募集しています。

下の用紙を切り取って生協前のボックスに入れてください。今後に生かしたいと思います。場所がわからない場合は生協の職員にお尋ねください。抽選でお菓子の詰め合わせをプレゼントします！

今号のぐびろが丘新聞に対する感想

生協の記事に対する感想・もっと知りたいこと

長崎大学生協へのご意見ご要望

お名前

ご連絡先

締切：2015年11月30日まで

試すいいチャンスなのでぜひご利用ください。

〈学年期別！ 人気参考書紹介〉
後期の授業がはじまって一ヶ月経ちました。後期の授業にも慣れてきたところだと思えますが、先輩がどんな参考書を使っていたか、気になりませんか？また試験には余裕がありますが、こつこつ勉強するの、進級への近道です！そこで、昨年の11月〜2月の売り上げを参考に、去年の先輩が試験前に買った参考書ランキングをご紹介します。



1年生
カラー図解人体の正常構造と機能 全10巻凝縮版
病気がみえる 脳・神経

「人体の正常構造と機能」は先生によって評価が分かれますが、広い分野に対応しているため、1年生から2年生にかけて幅広く活用できます。「病気がみえる 脳・神経」は指定教科書のアトラスの内容が難しいと感じる人に特にお勧めです。2年生の前期にも脳神経の授業はあるので、その時にも使えらると思います。

2年生
標準微生物学
病気がみえる 免疫・膠原病・感染症
ロビンズ基礎病理学

「標準微生物学」は感染症の授業で活用でき、シラバスにも載っている参考書なので内容に定評があります。「病気がみえる 免疫・膠原病・感染症」は3年生の前期の感染症の授業でも使えます。ロビンズ基礎病理学は、英語版が指定の教科書でした。昨年は、そのsummaryから出題されたのもあってよく売れています。

3年生
病気がみえる 腎・泌尿器病
病気がみえる 婦人科・乳腺外科
病気がみえる 産科

本格的に臨床の授業がはじまった3年生からは「病気がみえる」シリーズがよく使われています。イラストが多く、表現もやさしいのでとても使いやすいシリーズです。最近では、「薬がみえる」というシリーズも発売されています。

4年生
4年生はCBTで使ったものが今回のデータではわからないのと、今年からカリキュラムが変わっているため今回は省略します。

コメントはあくまでも著者の主観です。ぜひ手にとつてご自身で中身を確認して、自分に合った参考書を探してください。また、ここで紹介した参考書はすべて大学生協で購入することができますが、試験期間前などは商品が品切れになります。取り寄せが必要になることもありますので、余裕をもつたご購入をお願いします。

山本侑季 著

国際医療系サークルLISEE 活動紹介 (朋百より一部抜粋) 5年 菅田 志帆

国際医療系サークルLISEEとは？
私たち国際保健医療系サークルLISEEは、国際的な医療活動に関心のある学生が集まり、国際保健について知識を深めようと約2年前に発足しました。以来、定期的に勉強会を開催したり、この分野で活躍する先輩方や施設を訪ね、研修を行ったりと、勢力的に活動しています。メンバーは長崎大学医学部医学科の大きな特色の一つである、AO入試である、国際保健医療系(平成20年度設立、平成26年度より推薦入試に移行)で入学した学生を中心に構成されており、将来国内外を問わず活躍出来るグローバルな医療人材を目指しています。

このLISEEは主に国際保健医療系に対する勉強会や他大学の学生との情報共有も行っています。そこで活動の環として、九州山口地区国際保健医療系サークル合同会に毎年参加しています。また、国境なき医師団 黒崎伸子先生講演会の企画・運営や九州圏医学生のための国際保健医療系合宿の企画・運営なども行ってきました。さらに、JICA九州見学のための国際機関の見学も行っています。別の活動としては、国際枠の生徒が毎年見学に行くカザフスタン研修に有志で参加するなど幅広い活動を行っています。

LISEEは発足したばかりのサークルということもあり、各々活動を提案し新しく企画して行っているため、非常に活動の自由度が高いサークルであるというのも特徴の一つです。

その際、国際保健医療系サークルの1つである、ベトナム・ハノイの長崎大学医学部の拠点でのフィールドワークに有志として同行させて頂き、非常に感銘を受けました。以来、国際医療に興味を持つようになり、この度、野崎先生にお話しを伺い、将来国際医療に自分がどう関わっていくことができるか考える機会になればと思います。WHOとJICA研修を企画しました。サークル内で呼びかけをし、数名の学生の希望があり、共に意見を出し合いながら充実した研修を行うことができました。この場をかりて部ではありますが、活動の報告をさせて頂きたいと思っております。

WHO神戸センター訪問研修
WHOの主要機能とは、リーダシップの提供、規範と基準の設定、技術支援や能力開発の提供、研究課題の形成、政策オプションの明確化、モタリングと健康動向など、多岐に渡りますが、各国政府の厚生労働省にあたる機関をサポートすること大きな役割と云えます。各国政府が自国の保健問題を解決するにあたり、規範や基準の設定や政策オプションの明確化などにより、医療政策の策定や実施をすることができるといえます。WHOはさまざまな点で、「全世界厚生労働省組合」といえます。また、UHCについてWHOによる定義では、Universal coverage (UC), or universal health coverage (UHC), is defined as ensuring that all people can use the promotive, preventive, curative, rehabilitative and palliative health services they need, of sufficient quality to be effective, while also ensuring that the use of these services does not expose the user to financial hardship.

JICA関西訪問研修
JICAとは、ODA(政府開発援助)のうち、二国間援助を担っています。日本にあるさまざまな分野における専門家や技術者などを開発途上国のニーズへと結びつける役割です。JICA関西では、職員の方から、JICAについて説明をして頂き、実際に青年海外協力隊として国外に派遣されていた医療スタッフの方のお話も聞くことができました。また、展示コーナーの見学もさせて頂き、JICAの活動や災害時のことなどについて、わかりやすく学ぶことができました。

JICAが主催する研修制度
研修制度は技術協力の一環です。日本には15のJICAセンターがあり、開発途上国から年間1〜2万人の研修員を受け入れ、1.5ヶ月ほどの期間で研修を行っています。各センターで実施される研修はそれぞれ特色があり、JICA関西では研修項目としては、総合防災行政、博物館学、廃棄物処理、助産師研修などがあります。特に阪神淡路大震災の経験がある関西地区では、防災行政は全国において秀でています。

神戸研修メンバー感想(一部抜粋)
現場で働くにしても行政との連携は必須であるし、WHOの仕事やこれからの医療政策について知ることが重要で、今回の研修はとても有意義であった。(5年 大関)

今後予想される都市化高齢化に伴う健康問題の増加や、現在急増している生活習慣病などに対応する際、医療分野だけでなく社会全体にまで視野を広げて考える必要がある。今後、臨床的な面ばかりでなく、少しずつそうしたシステムの部分にも目を向けていきたいと考える。(3年 田口)

今回、先生方から、直接お話を伺う事ができ、「生の声」にたくさんの刺激をいただきました。お忙しい中、貴重なお時間を割いていただき、本当に有難うございました。(3年 西田)

最後に
私は国際保健医療系サークルにはありませんが、将来国際医療に携わることや、日本のみならず世界の公衆衛生の現状について考えることにも関心を持っています。そして同じように興味を持つ学生との情報交換や活動をしたと考えると、このサークルに1年前より所属し多くの活動の機会を頂いています。この研修を通じて、WHO、JICAという2つの国際機関について学びましたが、漠然といたいた国際機関と国際医療の関係というものを幾分か理解することができました。両機関とも私が思っていたよりも国民の実生活に関わっており、WHOやJICAを近く感じることができた研修でもありました。

私がこの研修を通して一番感じたことは、人とのつながりの大切さである。神戸センターの皆さんのお話を聞いて、自らの周りの人とのつながりを大切に、それぞれの人の考えや望みを把握してそれらをつなげていくことが大切であると感じた。

最後に
私は国際保健医療系サークルにはありませんが、将来国際医療に携わることや、日本のみならず世界の公衆衛生の現状について考えることにも関心を持っています。そして同じように興味を持つ学生との情報交換や活動をしたと考えると、このサークルに1年前より所属し多くの活動の機会を頂いています。この研修を通じて、WHO、JICAという2つの国際機関について学びましたが、漠然といたいた国際機関と国際医療の関係というものを幾分か理解することができました。両機関とも私が思っていたよりも国民の実生活に関わっており、WHOやJICAを近く感じることができた研修でもありました。

また、今回の研修では、「学生が実際に現地に赴いて研修をする意義」についても考えながら企画させて頂きました。情報化社会が進みインターネットで、現地へ赴き研修をする意義を考えながら研修内容をご提案させて頂き、非常に良い経験となりました。この研修の報告にしましては、長崎医学同窓会雑誌「朋友」に簡単ではありますが、掲載させて頂いています。よろしければこちらもご覧ください。

最後になりましたが、この研修を実現することが出来たのは、長崎大学国際連携研究戦略本部教授である、野崎慎一郎先生と顧問である高村昇教授のご協力あつてのことです。深く感謝申し上げます。また、この研修にあたり共に研修を行ったサークルのメンバーにも合わせて感謝申し上げます。

菅田 志帆
私がこの研修を通して一番感じたことは、人とのつながりの大切さである。神戸センターの皆さんのお話を聞いて、自らの周りの人とのつながりを大切に、それぞれの人の考えや望みを把握してそれらをつなげていくことが大切であると感じた。

最後に
私は国際保健医療系サークルにはありませんが、将来国際医療に携わることや、日本のみならず世界の公衆衛生の現状について考えることにも関心を持っています。そして同じように興味を持つ学生との情報交換や活動をしたと考えると、このサークルに1年前より所属し多くの活動の機会を頂いています。この研修を通じて、WHO、JICAという2つの国際機関について学びましたが、漠然といたいた国際機関と国際医療の関係というものを幾分か理解することができました。両機関とも私が思っていたよりも国民の実生活に関わっており、WHOやJICAを近く感じることができた研修でもありました。

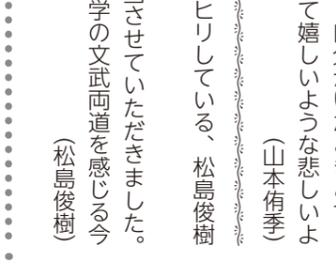
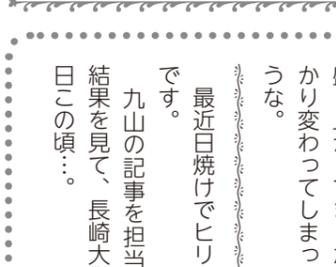
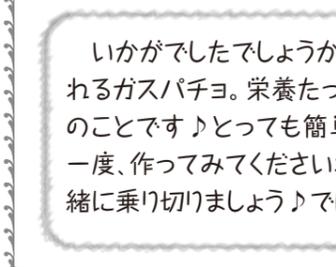
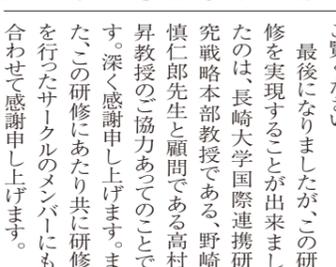
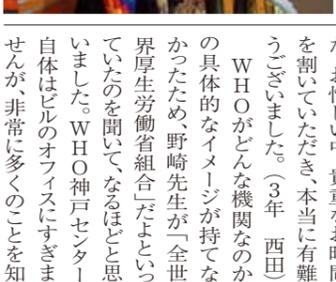
また、今回の研修では、「学生が実際に現地に赴いて研修をする意義」についても考えながら企画させて頂きました。情報化社会が進みインターネットで、現地へ赴き研修をする意義を考えながら研修内容をご提案させて頂き、非常に良い経験となりました。この研修の報告にしましては、長崎医学同窓会雑誌「朋友」に簡単ではありますが、掲載させて頂いています。よろしければこちらもご覧ください。

最後になりましたが、この研修を実現することが出来たのは、長崎大学国際連携研究戦略本部教授である、野崎慎一郎先生と顧問である高村昇教授のご協力あつてのことです。深く感謝申し上げます。また、この研修にあたり共に研修を行ったサークルのメンバーにも合わせて感謝申し上げます。

菅田 志帆
私がこの研修を通して一番感じたことは、人とのつながりの大切さである。神戸センターの皆さんのお話を聞いて、自らの周りの人とのつながりを大切に、それぞれの人の考えや望みを把握してそれらをつなげていくことが大切であると感じた。

最後に
私は国際保健医療系サークルにはありませんが、将来国際医療に携わることや、日本のみならず世界の公衆衛生の現状について考えることにも関心を持っています。そして同じように興味を持つ学生との情報交換や活動をしたと考えると、このサークルに1年前より所属し多くの活動の機会を頂いています。この研修を通じて、WHO、JICAという2つの国際機関について学びましたが、漠然といたいた国際機関と国際医療の関係というものを幾分か理解することができました。両機関とも私が思っていたよりも国民の実生活に関わっており、WHOやJICAを近く感じることができた研修でもありました。

また、今回の研修では、「学生が実際に現地に赴いて研修をする意義」についても考えながら企画させて頂きました。情報化社会が進みインターネットで、現地へ赴き研修をする意義を考えながら研修内容をご提案させて頂き、非常に良い経験となりました。この研修の報告にしましては、長崎医学同窓会雑誌「朋友」に簡単ではありますが、掲載させて頂いています。よろしければこちらもご覧ください。



トマトたっぷり☆まるやかガスパチョ (冷製スープ)



○材料(2人分)
トマト(2個)、玉ねぎ(6分の1個)、きゅうり(半分)、にんにく(薄切り1枚、チューブでも代用OK)
・調味料：オリーブ油(小さじ1)、塩少々、レモン汁(大さじ1)

○手順 (所要時間 約10分)
①トマトを湯剥きしましょう。
②きゅうりの皮を剥き、幅5ミリほどに細かく切ります。玉ねぎ・にんにくも同様に細かく刻みます。
③①のトマトをざく切りにし、②、調味料とともにミキサーにいれます。
④ミキサーに1、2分かけます。
⑤器にもり付けて、冷蔵庫で冷やします。
⑥出来上がり♪

○トマトの湯剥きのしかた
・まず、ヘタをくり抜きます。熱湯につけ、皮がはじけてきたら、冷水に移し、手で皮をむきます。(スルッと剥けますよ♪)

いかがでしたでしょうか??飲むサラダとも呼ばれるガスパチョ。栄養たっぷり、美肌効果もあるとのこと♪とっても簡単に作れますので、ぜひ一度、作ってみてくださいね♡つら〜い夏バテ、一緒に乗り切りましょう♪では、また!

はじめてのレシピシリーズ

一人暮らしのお料理

「夏の疲れにご注意を!」
夏の終わりをを感じる季節になりました。みなさんは夏休み、いかが過ごされましたか?? 新入生の皆さんは、大学生になって初めての夏休み♡ご家族と久しぶりにゆっくりされた方もいらっしゃるのでは?
素敵な思い出は、たくさんできましたか?
さて、思いつき夏を満喫した後に心配なのは夏バテ(と、個人的にはテスト、)。栄養たっぷりのお野菜で、夏の疲れを撃退しましょう♡
えいやっ!!

編集後記

厳正なるあみだくじのもと、部長に就任しました(笑) 熊谷知香です。
今号から初めて編集に携わらせていただきました。まだまだ初めて尽くしですが、部員の皆さんに支えられながら頑張っていきたいと思っております。よろしくお祈りします。
(熊谷知香)

短い夏休みを満喫しております、狩野です。副部長に就任しました!今回は学生の活動特集を担当させていただきました(笑)長大生の様々な活動を見て、私も何か外に向けて足を伸ばしてみたいなあと感じています。記事作りに、部長さんのサポートにと頑張っていることと思います!よろしくお祈りします。
(狩野恵梨)

今回、編集委員長の座を後輩の熊谷さんに受け渡し、今後は隠居生活を送ろうと企んでいる松本です。これからも学友会広報部をよろしくお祈りします。
(松本 学)

実習、病院見学と、医師として社会に出る時が着々と近づいていることを実感しています。夏休みもあと残すところ一回。残り少ない学生生活、できることをいろいろしていこうと思います。
(市川宏美)

今年是比较的長い夏休みなので旅行など色々楽しもうと思っております。あとできたらCBTの勉強も少し、
(野本和宏)

古都の夏に蒸されており、和田です。今年の夏も暑いですが、
こんな時は、冷たいお料理を!、ということ、今回のレシピは冷製スープにしてみました!どうぞめしあがれ!!
(和田澄華)

今回は生協の記事を担当しました。初めてがっつり新聞を書いてヘトヘトです。実家に帰ると、アミユが出来ていたり進撃の巨人のキャラがいたるところに出没していたり盛り上がり過ぎてました。自分がいたときとすっかり変わってしまっていて嬉しいような悲しいような。
(山本侑季)

最近日焼けでヒリヒリしている、松島俊樹です。
九山の記事を担当させていただきました。結果を見て、長崎大学の文武両道を感じる今日この頃...
(松島俊樹)